

これまでの河川整備の効果 淀川水系木津川上流 [上野遊水地]

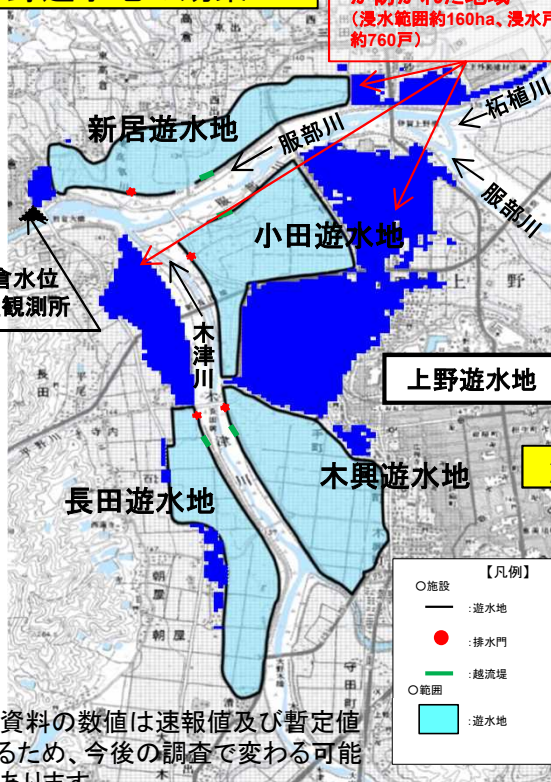
- 昭和28年台風13号洪水で甚大な被害を受けた上野地区において、平成27年より上野遊水地の運用を開始。
- 台風21号において、木津川及び服部川で、運用開始以来初めて4つの遊水地に越流し、約600万立方メートルを貯留。
- 遊水地の整備により上野地区において約160haの浸水面積、約760戸の浸水戸数の被害を解消できたと推定。

位置図

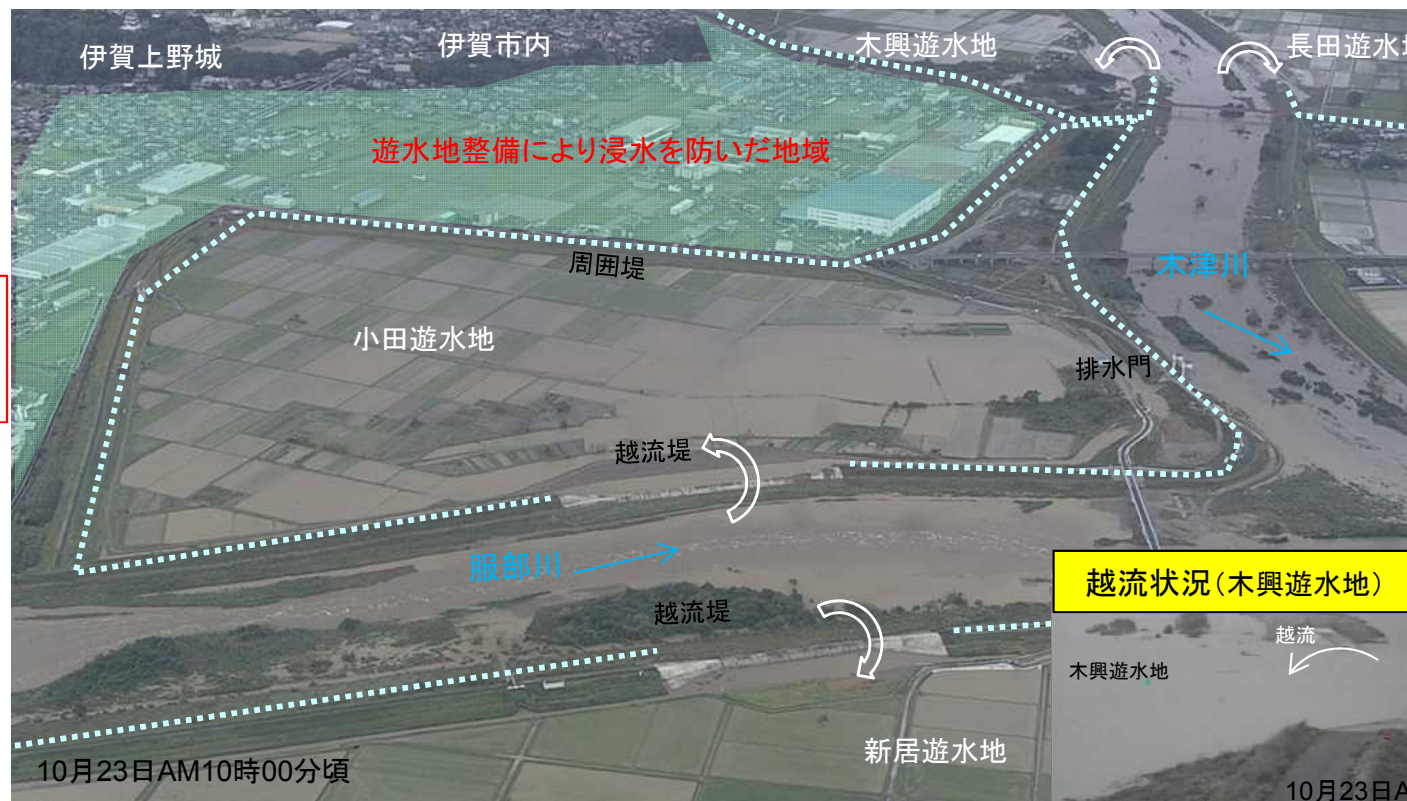


今回の出水において、遊水地整備により浸水が防がれた地域 (浸水範囲約160ha、浸水戸数約760戸)

上野遊水地の効果



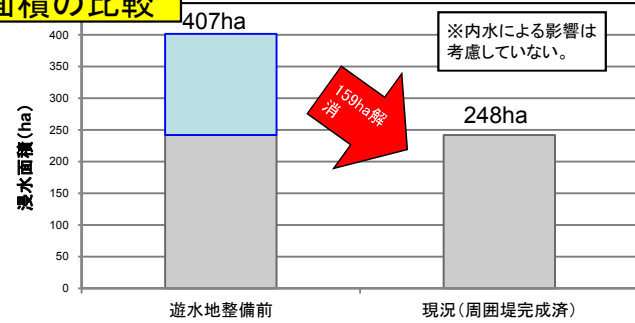
越流状況(全体)



越流状況(木興遊水地)



浸水面積の比較



浸水戸数の比較

